



取扱説明書

CZ201

CD/USB/MP3/WMA レシーバー

CZ101

CD/MP3/WMA レシーバー

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目次

はじめに

主な特長	4
ご使用の前に	5
安全に正しくお使いいただくために	5
安全上のご注意	6
取扱上のご注意	8
ご確認事項	8
本体のお手入れについて	8
ディスプレイについて	8
表示画面について	8
エラー表示について	9
CD の再生について	9
CD について	9

本機の操作

■各部の名称とはたらき

本体部	10
モード別ディスプレイ表示	12

■基本の操作

DCP の取り外し方	14
DCP の取り付け方	14
電源を入れる	15
ソースを選ぶ	15
音量を調節する	15
時刻を合わせる	15
表示を切り換える	16
重低音を増強する (マグナベース EX 機能)	17
音質を簡単に設定する (BEAT EQ 機能)	17
BEAT EQ 量を調整する	18
音質を調整する (バス / ミッド / トレブル)	18
左右のスピーカー音量を調整する	18
前後のスピーカー音量を調整する	19
サブウーファースローパスフィルターを調整する	19
サブウーファー出力ボリュームを調整する	19

■ラジオを聴く

ラジオを選ぶ	20
受信バンドを切り換える	20
受信感度を選ぶ (DX/LO)	20
自動選局する (シーク選局)	20
手動選局する (マニュアル選局)	20
プリセット選局する	21
プリセットメモリーする	21
自動メモリーする (オートストア機能)	21
放送を確かめる (プリセットスキャン)	22
特定の放送局をすぐに選局する (ISR 機能)	22

■CD/MP3/WMA を聴く

MP3/WMA について	23
ディスクを入れる	25
ディスクを取り出す	25
すでに入っているディスクを聴く	25
最初の曲から聴く (トップ機能)	26

再生を止める（一時停止）	26
曲を選ぶ	26
早送り / 早戻しする	26
曲を選ぶ（10曲スキップ）	26
フォルダを切り換える（フォルダ選択モード）	26
フォルダから曲を探す	27
いろいろな再生（スキャン / リピート / ランダム演奏）	27

■設定を変更する（アジャストモード）

設定項目の選びかた	28
スクリーンセーバーを設定する（SCRN SVR）	29
タイトルスクロールを設定する（SCROLL）	29
ディスプレイ照明を設定する（DIMMER）	29
RCA 出力を設定する（REAR/S-W）	29
携帯電話音声の割り込みを設定する（TEL-SW）	30
ビープ設定する（BEEP）	30
時計表示を設定する	30

外部機器の操作

■USB 機器のオーディオファイルを聴く（CZ201）

USB 機器について	31
USB 機器を接続する	31
USB 機器のオーディオファイルを聴く	32
再生を終了するには	32

■iPod を操作する（CZ201）

iPod を接続する	33
iPod を選ぶ	34
いろいろな再生（プレイモード時）	34
iPod メニューからカテゴリーを選ぶ（ミュージック）	34
iPod メニューからカテゴリーを選ぶ（ビデオ）	35
アルファベットを検索する（ABC サーチ機能）	35
シンプルコントロールを選ぶ	36
タイトル表示について	36

■ポータブルオーディオ / 携帯電話音声を聴く（AUX）

AUX を選ぶ	37
AUX 入力の接続のしかた	37
ポータブルオーディオの入力レベルを設定する（AUX SENS）	37

その他

故障かな？と思ったら	38
エラー表示について	40
仕様	41
アフターサービスについて	43

取付説明

取付説明	44
------	----



■USB スロット搭載 (CZ201)

- さまざまな周辺機器が接続可能な USB スロットを装備しております。

※USB メモリー接続時、オプションの CCA-755 をご使用ください。

■iPod®/iPhone® USB接続対応 (CZ201)

- iPod を USB 接続することで iPod を直接コントロールできます。また、iPod で操作可能なシンプルコントロール対応。
- 本書で表記している「iPod」とは、本機に接続可能な iPod および iPhone を指します。
- 本機でコントロール可能な iPod 機器に関しては、お近くのクラリオン販売店にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

※“Made for iPod,” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance. iPhone and iPod are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

■MP3/WMA ファイル再生機能

- CD-R/RW やマストレージクラスの USB 機器に記録した MP3/WMA フォーマットのファイルの再生が可能です。
- ISO9660 レベル 1,2, Joliet, Romeo に対応します。

■外部入力機能 (AUX 入力)

- ポータブルオーディオなどが接続できる便利な前面 AUX 入力端子を装備しております。
- Bluetooth® トランシーバー (BLT370) との組み合わせにより、携帯電話のハンズフリー通話やオーディオストリーミングが可能です。

※Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であり、クラリオン (株) は許可を受けて使用しています。

■45W × 4ch ハイパワーアンプ内蔵

■Beat EQ、マグナベース EX 機能

■ローパスフィルター機能

■盗難防止としての DCP 機能

■4ch RCA 音声出力端子 (CZ201)

■2ch RCA 音声出力端子 (CZ101)

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この『取扱説明書』の表示では、製品を安全に正しくご使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用の前に『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

■使用上のご注意

⚠ 警告

- 運転者は走行中に操作をしない…
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しない…
事故や火災、感電の原因となります。
- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
- ディスク挿入口や機器内部に水や異物を入れない…
火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている『取付説明書』をご覧ください。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…



車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れない…



けがの原因となることがあります。

- 本機を車載用以外には使用しない…



感電やけがの原因となることがあります。

- 電源を切るときは、音量を最小にする…



電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…



火災の原因となることがあります。

- 本機の取付場所変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…



専門技術と経験が必要です。

ご確認事項

-   マークのついた CD をご使用ください。ただし、TEXT ディスクのテキストは表示いたしません。
- また、シースルーディスク（半透明 CD）、ハート形や八角形など、特殊形状の CD はご使用しないでください。取り出せなくなる場合があります。
- CD-R/RW で記録されたディスクでもご使用できない場合があります。
- CD-ROM は、本機ではご使用できません。
- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、ディスクや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1 時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。
- CZ201 は USB1.1/2.0 互換で、MP3/WMA フォーマットのファイルが再生できません。
- CZ201 の USB スロットに接続をして再生できる USB 機器は、「**USB マスストレージクラス**」として認識されることが条件となりますが、すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- 2 つ以上のドライブで構成されている USB 機器は、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- セキュリティー機能の付いた USB 機器は再生できません。
- 使用する USB 機器が「**USB マスストレージクラス**」に準拠しているかは、販売メーカーにお問い合わせください。
- iTunes[®] Music Store で購入した楽曲や著作権保護されたファイルを CD-R や USB へコピーしての再生はできません。

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に付けて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



- 樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- 自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部（アクリル部品）の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。
- 直射日光などの関係により、製品に光が反射する恐れがあります。運転の際は十分ご注意ください。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」の項目（40 ページ）を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

CD の再生について

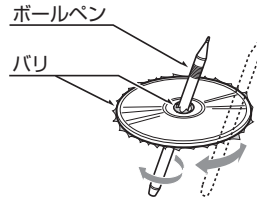
- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- ディスクを再生中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- ディスクをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CD について

■取扱い上のご注意

- CD-R、CD-RW は、通常の音楽 CD に比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 各種コピーコントロール CD は、CD 規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としては CD 再生機器における再生保証は致しかねます。万一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CD の発売元にお問い合わせください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れなどを付けないように扱ってください。
- レーベル面（印刷面）や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕がある CD は使用しないでください。そのまま CD プレーヤーに入れると、CD が取り出せなくなったり、故障の原因となります。

- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■CD の保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

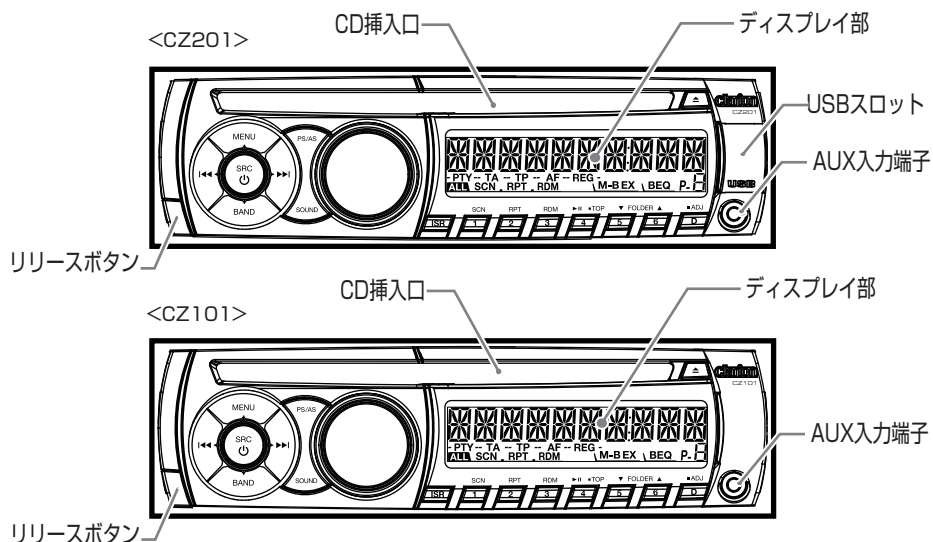
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■CD のお手入れ

- ディスクが汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- レコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部



[SRC/⏻]

ソース/パワーボタン

- ・電源を入れ、各モードに切り換えます。
- ・電源を切るときは押し続けます。(約1秒間)



[MENU] メニューボタン

- ・MP3/WMA、USBモード時はフォルダー内の局を選曲できます。
- ・iPodモード時、iPodのメニューからカテゴリーを選択出来ます。



[BAND] バンドボタン

- ・ラジオモード時は、バンドを切り換えます。



[PS/AS]

プリセットスキャン/ オートストアボタン

- ・ラジオモード時、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。
- ・ラジオモード時、押し続けると、オートストア機能となり、受信できる放送局を順にメモリーします。



[◀◀],[▶▶] サーチボタン

- ・ラジオモード時の選局に使います。
- ・ディスク、USB機器、iPod使用時は選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。
- ・各種設定時に項目を選択します。



**[SOUND] サウンドボタン**

- ・オーディオの各種調整をします。

**[D] ディスプレイボタン**

- ・ディスプレイ表示を切り換えます。
- ・押し続け（約1秒間）で、調整モードになります。（アジャストモード）

**[▲] イジェクトボタン**

- ・CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。

**[ISR] ISRボタン**

- ・現在のモードにかかわらず、よく聴くラジオ局をすぐに呼び出します。（ISR機能）
- ・押し続け（約2秒間）で、ISRにメモリーします。

**[VOLUME] ボリュームノブ**

- ・音量を調節します。
- ・アジャストモード時の各種設定に使用します。
- ・各種設定の決定をします。

**[DIRECT] ダイレクトボタン**

- ・ラジオモード時に、登録した放送局を呼び出します。押し続け（約2秒間）で、ダイレクトボタンに放送局をメモリーします。

**[SCN] スキャンボタン**

- ・CD/MP3/WMAモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏をします。

**[RPT] リピートボタン**

- ・CD/MP3/WMAモード時に、繰り返し再生をします。
- ・トラックリピート、フォルダーリピートオフを切り替えます。

**[RDM] ランダムボタン**

- ・CD/MP3/WMAモード時に、ランダム演奏をします。

**[F-UP],[F-DN]****アップダウンボタン**

- ・MP3/WMAモード（ディスク、USB）時に、フォルダを切り換えます。

**[▶||]TOP [▶||]プレイ/ポーズボタン**

- ・ディスク、USB機器、iPod使用時は、再生を一時停止します。

モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示



タイトル表示部

- ・モード表示（モード切換時に約2秒間表示します。）
- ・タイトル表示
受信中の周波数やMP3/WMAファイルのタイトルなどを表示します。
詳しくは、各モードの表示をご覧ください。
- ・スクリーンセーバー
スクリーンセーバーを表示します。
詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)」(29ページ)をご覧ください。
- ・時計表示（ディスプレイボタン押し時）

TUNER : ラジオモード

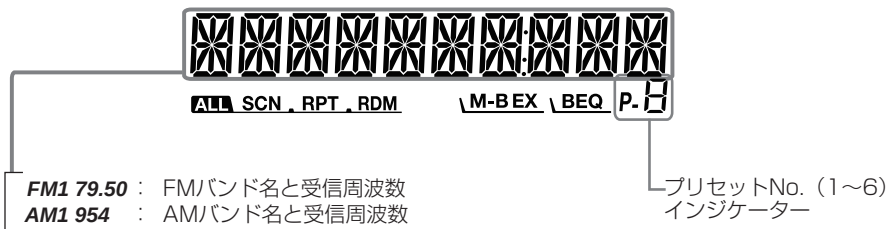
CD/MP3 : CD/MP3/WMAモード

USB : USBモード (CZ201)

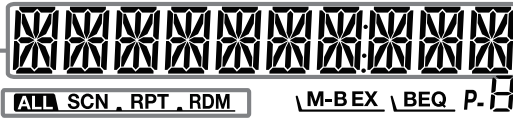
IPOD : iPodモード (CZ201)

AUX : AUXモード

■ラジオモード時の表示



■CD/MP3/WMAモード、USBモード (CZ201) 時の表示



• メイン表示

(音楽CD再生時)
トラック番号/再生時間表示 (分、秒)

(MP3/WMAディスク再生時)
トラック番号/再生時間表示 (分、秒)

ALL : フォルダリピート演奏のときに点灯

SCN : スキャン演奏のときに点灯

RPT : リピート演奏のときに点灯

RDM : ランダム演奏のときに点灯

• タイトル表示

(音楽CD再生時)
表示なし

(MP3/WMAディスク/USB再生時 (CZ201))
トラックタイトル/フォルダタイトル/タイトルTAG/アーティストTAG/アルバムTAG

• 選曲切換時に表示(約2秒間)

(音楽CD再生時)

SCAN ON : スキャン演奏選択時

SCAN OFF : スキャン演奏キャンセル時

RPT ON : リピート演奏選択時

RPT OFF : リピート演奏キャンセル時

RDM ON : ランダム演奏選択時

RDM OFF : ランダム演奏キャンセル時

(iPod再生時) (CZ201)

RPT ON : リピート演奏選択時

RPT OFF : リピート演奏キャンセル時

ALBUM RDM : アルバムランダム演奏選択時

SONG RDM : 曲ランダム演奏選択時

RDM OFF : ランダム演奏キャンセル時

(MP3/WMA再生時)

※ディスク…CZ101、CZ201

USB…CZ201

SCAN ON : スキャン演奏選択時

SCAN OFF : スキャン演奏キャンセル時

TRACK RPT : トラックリピート演奏選択時

FOLD RPT : フォルダリピート演奏選択時

RPT OFF : リピート演奏キャンセル時

RDM ON : ランダム演奏選択時

RDM OFF : ランダム演奏キャンセル時

• その他の表示

LOADING : ディスクをローディング中

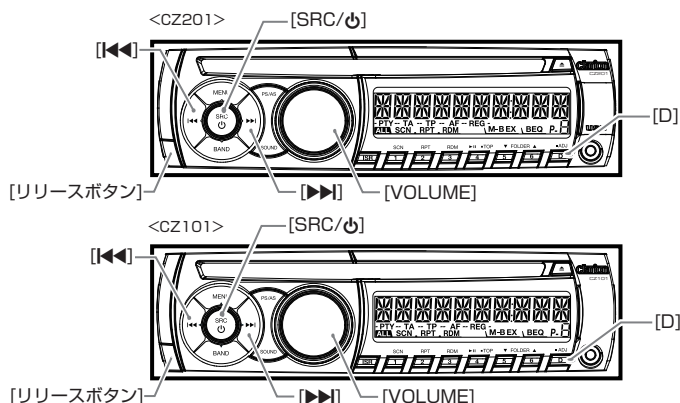
FILE READ : ファイルシステム読み込み中

PAUSE : 再生一時停止時

ERROR 3 : エラー発生時

EJECT : ディスク、イジェクト中

基本の操作



DCP の取り外しかた

■ DCP(Detachable Control Panel) について…

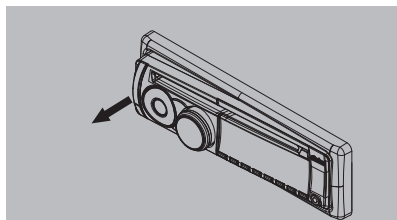
このコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。

車から離れるときは、DCP をお持ちになることをお勧めします。

1 [SRC/φ] ボタンを押し続けて (約 1 秒間)、電源を切る

2 [リリース] ボタンを深く押す
→DCP の左端が本体から外れます。

3 DCP を手前に取り出す

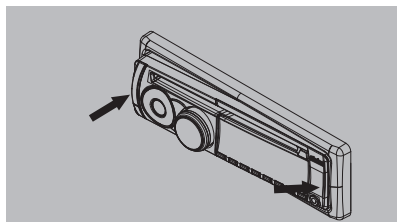


⚠ 注意

- 運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。
- DCP は衝撃に弱いです。落としたり強い衝撃を与えると故障の原因となりますので取扱には、ご注意ください。

DCP の取り付けかた

1 DCP の右側部を、本機のツメ部に差し込む



2 DCP の左端部を、カチッと音がするまで押す

⚠ 注意

- DCP がロックされていない状態で走行すると振動により落下する恐れがありますので、本機に確実に取り付けてください。
- 本機と DCP を接続しているコネクタは大変重要な部分です。爪やドライバーなどで押してキズをつけないように、注意してください。

ご注意

- DCP が汚れている場合、乾いたやわらかい布でふいてください。

電源を入れる

1 [SRC/⏮] ボタンを押す

ご注意

- ・バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

「[SRC/⏮] ボタン」を押し続けてください。(約 1 秒間)

ソースを選ぶ

1 [SRC/⏮] ボタンを押す

→ 押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

- ・CZ201 の場合：

ラジオ	→	CD/MP3/WMA
↑		↓
AUX	←	USB(iPod)

- ・CZ101 の場合：

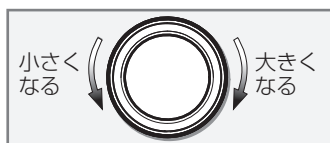
ラジオ	→	CD/MP3/WMA
↑		↓
AUX	←	

※「iPod」は対応機器が USB スロットに接続されたとき、表示します。

※ディスクが入っていないときは「CD/MP3」は表示しません。USB 接続機器が接続されていないときは「USB (iPod)」は表示されません。(CZ201)

音量を調節する

1 [VOLUME] ボリュームノブを回す



⚠ 注意

- ・運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

時刻を合わせる

■ 時計表示について…

本機は、POWER ON 時に時計を表示します。

時計は 12 時間、24 時間表示の切り替えが可能です。

1 [D] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)

2 [⏮], [⏭] サーチボタンを押して、「CLOCK」を選ぶ

3 [VOLUME] ボリュームノブを押す

→ 調整時点「PM 2:20」もしくは「14:20」などの時刻を表示し、時刻設定モードになります。

- ・時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。
- ・約 10 秒間操作していないときは、調整前の表示に自動的に切り替わります。

4 [⏮], [⏭] サーチボタンを押して、時または分を選ぶ

→ 点滅している項目が調整できます。

5 [VOLUME] ボリュームノブを回して、時刻を合わせる

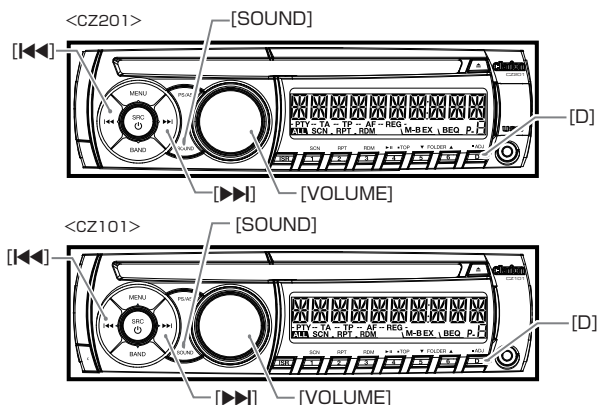
6 [VOLUME] ボリュームノブを押し続ける (約 1 秒間)

→ 時刻が設定されます。

ご注意

- ・点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう一度、時刻合わせをしてください。

7 [D] ボタンを押して、元のモードに戻る

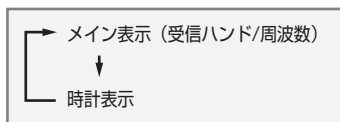


表示を切り換える

1 [D] ボタンを押して表示を選ぶ

→ 押すたびに、次のように切り換わります。

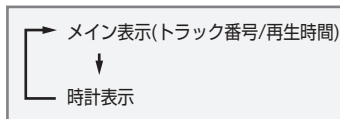
● ラジオモード



注意

・ 詳しくは、「モード別ディスプレイ表示」
(12 ページ) をご覧ください。

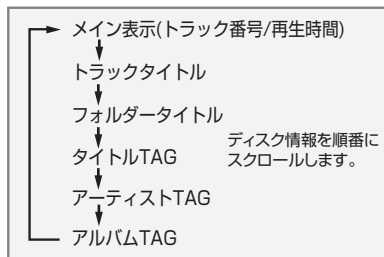
● 音楽 CD 再生時



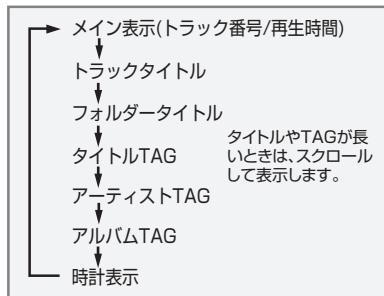
● MP3/WMA ディスク、USB、iPod 再生時

→ アジャストモード内のスクロール機能
ON/OFF によって、表示が異なります。

・ スクロール機能 ON のとき：



・ スクロール機能 OFF のとき：



■ スクリーンセーバー機能について…

スクリーンセーバーの初期設定は「OFF」です。

■ 常に時計表示するには…

時計表示に切り換えて、スクリーンセーバー機能を「OFF」に設定してください。

⚠ 注意

- ・設定については「スクリーンセーバーを設定する (SCRN SVR)」(29 ページ) をご覧ください。
- ・点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう一度、時刻合わせをしてください。

重低音を増強する (マグナベース EX 機能)

1 [SOUND] ボタンを押して、サウンド設定モードにする

2 [◀◀], [▶▶] サーチボタン押して、(M-B EX) を選ぶ

3 [VOLUME] ボリュームノブを回して、(ON) を選ぶ

→マグナベース EX(MAGNA BASS EX) が ON になり、ディスプレイ部に「M-B EX」を点灯して、重低音が増強されます。

※初期設定は、「OFF」です。

音質を簡単に設定する (BEAT EQ 機能)

本機は、3 つのイコライジングパターンをメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- ・ **B-BOOST** : 低音を強調
 - ・ **IMPACT** : 低音と高音を強調
 - ・ **EXCITE** : 低音と高音をさらに強調
- ※初期設定は、「OFF」です。

→BEAT EQ が ON のときは、ディスプレイ部に「BEQ」が点灯します。

■ BEAT EQ オフについて…

原音のままお聴きになりたいときは、Z-エンハンサーを「OFF」にしてご使用ください。

■ 音質をきめ細かく設定したいときは…

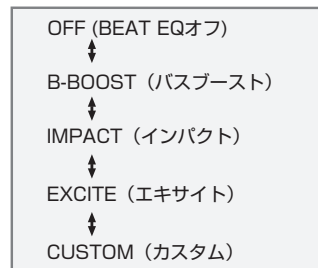
この機能を **CUSTOM** (カスタム) に設定し、「音質を調整する (バス/ミッド/トレブル)」(18 ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

ご注意

- ・ 10 秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

1 [SOUND] ボタンを押して、(BEAT EQ) を選ぶ

2 [VOLUME] ボリュームノブを回して、お好みの音質を選ぶ



3 [SOUND] ボタンを押して、元のモードに戻る

BEAT EQ 量を調整する

ご注意

- BEAT EQ 機能が **B-BOOST** (バスブースト)、**IMPACT** (インパクト) または **EXCITE** (エキサイト) のときに調整できます。
- 10 秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

1 [SOUND] ボタンを押して、(BEAT EQ) を選ぶ

→しばらくすると、現在設定されている項目が表示される。

2 [VOLUME] ボリュームノブを回して、調整したい項目 (EXCITE/IMPACT/B-BOOST) を選ぶ

3 [VOLUME] ボリュームノブを押す

4 [VOLUME] ボリュームノブを回して、調整する

- 調整範囲は、-3 ~ +3 です。

5 [SOUND] ボタンを押して、元のモードに戻る

音質を調整する (バス / ミッド / トレブル)

この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

ご注意

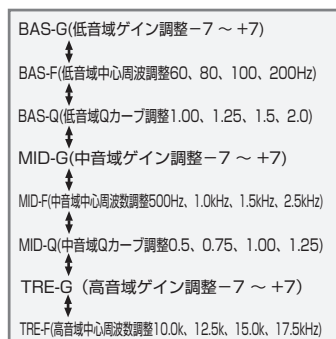
- この機能は、BEAT EQ 機能が (CUSTOM) カスタムの際に設定できます。
- 10 秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

1 [SOUND] ボタンを押して、(BEAT EQ) を選ぶ

→しばらくすると、現在設定されている項目が表示される。

2 [VOLUME] ボリュームノブを回して、(CUSTOM) を選び、[VOLUME] ボリュームノブを押す

3 [◀◀], [▶▶] サーチボタン押して、設定項目 (BASS、MID、TREB) を選ぶ



左右のスピーカー音量を調整する

1 [SOUND] ボタンを押して、サウンド設定モードにする

2 [◀◀], [▶▶] サーチボタン押して、設定項目 (BALANCE) を選ぶ

3 [VOLUME] ボリュームノブを回して、左右のスピーカー (バランス) の音量を調整する

- 調整範囲は、RIGHT 7 ~ LEFT 7 です。

※初期設定は、「CENTER」です。

前後のスピーカー音量を調整する

- 1 [SOUND] ボタンを押して、サウンド設定モードにする
- 2 [◀◀], [▶▶] サーチボタン押して、設定項目 (**FADER**) を選ぶ
- 3 [VOLUME] ボリュームノブを回して、前後のスピーカー (フェダー) の音量を調整する
 - 調整範囲は、FRONT 7 ～ REAR 7 です。
 - ※ 初期設定は、[CENTER] です。

サブウーファーのローパスフィルターを調整する

- 1 [SOUND] ボタンを押して、サウンド設定モードにする
- 2 [◀◀], [▶▶] サーチボタン押して、設定項目 (**LPF**) を選ぶ
- 3 [VOLUME] ボリュームノブを回して、設定内容を選ぶ

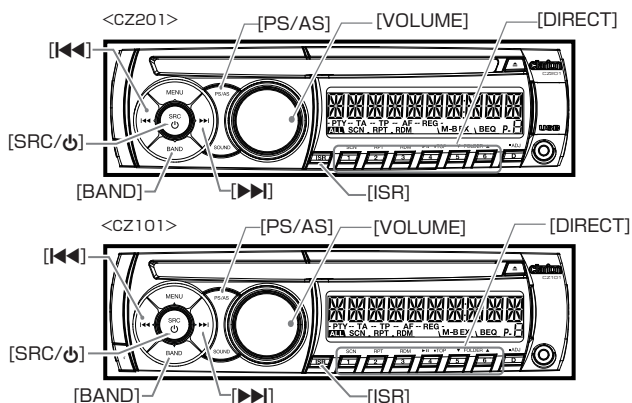
“THROUGH” ↔ “80” ↔
 “120” ↔ “160”

- ※ 初期設定は、[160] です。

サブウーファー出力ボリュームを調整する

- 1 [SOUND] ボタンを押して、サウンド設定モードにする
- 2 [◀◀], [▶▶] サーチボタン押して、設定項目 (**SUBW VOL**) を選ぶ
- 3 [VOLUME] ボリュームノブを回して、調整する
 - 調整範囲は、-6 ～ +6 です。
 - ※ 初期設定は、[0] です。

ラジオを聴く



ラジオを選ぶ

1 [SRC/⏏] ボタンを押してラジオモードを選ぶ

→ 押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

・CZ201 の場合：

ラジオ → CD/MP3/WMA
 ↑ AUX → USB(iPod) ↓

・CZ101 の場合：

ラジオ → CD/MP3/WMA
 ↑ AUX ↓

受信バンドを切り換える

1 [BAND] ボタンを押す

→ 押すたびに、バンドが切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2
 ↓

受信感度を選ぶ (DX/LO)

本機では、受信感度を切り替えることにより、音質の良い放送局をお楽しみいただけます。

※ 初期設定は、「**DX**」です。

1 [D] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)

→ タイトル表示部に [**CLOCK**] を表示して、アジャストモードになります。

2 [I<<<]、[I>>>] サーチボタンを押して、[DX/LO] を選ぶ

3 [VOLUME] ボリュームノブを回して設定する

DX：電波の強い放送局・弱い放送局、関係なく受信します。

LO：電波の強い放送局のみ受信します。

→ より良い音質の放送局をお楽しみいただけます

自動選局する (シーク選局)

1 [I<<<]、[I>>>] サーチボタンを押し続ける (約 1 秒間)

→ 放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する (マニュアル選局)

- 1 **[◀◀]、[▶▶]** サーチボタンを押す
→そのまま押し続けると、自動選局になります。

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

- 1 **[DIRECT]** (1 ~ 6) ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに受信周波数とプリセット No. を表示します。

ご注意

- ・**[DIRECT]** ボタンを押し続ける (約 2 秒間) とプリセットメモリーとなり、受信中の放送局がメモリーされてしまいます。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2 各 6 局、合計で 24 局です。

- 1 **[BAND]** ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

- 2 **[◀◀]、[▶▶]** サーチボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

- 3 メモリーさせたい **[DIRECT]** (1 ~ 6) ボタンを押し続ける (約 2 秒間)

→押した **[DIRECT]** (1 ~ 6) ボタンに登録されます。

自動メモリーする (オートストア機能)

オートストア機能について…

受信感度の良い放送局を自動的にプリセットメモリーへ登録をします。

- 1 **[BAND]** ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

- ・自動メモリーは、受信バンド別に登録しますので、それぞれ登録してください。(FM 時は FM2、AM 時は AM2 へ登録されます。)

- 2 **[PS/AS]** プリセットスキャン / オートストアボタンを押し続ける (約 1 秒間)

→タイトル表示部に自動メモリー動作中のプリセット No. を表示します。

- ・自動的に、受信感度の良い放送局が **[DIRECT]** (1 ~ 6) ボタンに登録されていきます。

ご注意

- ・自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- ・登録できる放送局が 6 局に満たない場合は、工場出荷時の放送局が呼び出されます。以前メモリーしていた放送局は消去されますので、ご注意ください。

放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 [PS/AS] プリセットスキャン / オートストアボタンを押す

→プリセットスキャン動作中のプリセット No. を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約 10 秒間ずつ受信します。また受信できない放送局は 10 秒間無音状態となります。

ご注意

- [PS/AS] プリセットスキャン / オートストアボタンを押し続ける（約 1 秒間）と、オートストア機能になります。ご注意ください。

■ **プリセットスキャンを解除するには…**
もう一度、[PS/AS] プリセットスキャン / オートストアボタンを押してください。

→ボタンを押したときに受信していた放送局になります。

特定の放送局をすぐに選局する (ISR 機能)

ISR (Instant Station Recall) 機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHz の交通情報がメモリーされています。

1 [ISR] ボタンを押す

→ディスプレイに「ISR 1620」を表示します。

■ **元のモードに戻すには…**

もう一度、[ISR] ボタンを押してください。

■ **ISR にメモリーするには…**

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、[ISR] ボタンを押し続けて（約 2 秒間）ください。

→「ISR MEMORY」と表示が出た後、ISR にメモリーされます。

MP3/WMA について

●MP3 とは

MPEG 規格のオーディオ・レイヤー 3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約 1/10 のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特長です。1 枚の CD-R/RW ディスクに、CD 約 10 枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

●WMA とは

・「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。

●DRM(著作権保護)の解除方法について

WMA の DRM(著作権保護)が ON のままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。以下の方法で解除してファイルを作成してください。

・ Windows Media Player 10/11 ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の取り込み」のタブで、「取り込みの設定」の中の「取り込んだ音楽を保護する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。

※作成した WMA ファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

●ファイル作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート、ビットレートについては「仕様」(41 ページ)をご覧ください。

フォルダー名 / ファイル名

・ フォルダー名、ファイル名は半角英数 / 記号で 32 文字以内で作成してください。それ以外で文字を入力した名前 は、正しく表示されない場合があります。フォルダー名、ファイル名はディスプレイに表示されます。

ファイル拡張子

・ ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。

論理フォーマット(ファイルシステム)

・ MP3/WMA ファイルを CD-R/RW に記録する場合、ライティングソフトのフォーマット

設定は「ISO9660(レベル 1,2)、Joliet、Romeo」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。

・ 同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG 表示について

・ MP3/WMA 再生ではフォルダ名、ファイル名、TAG をタイトルとして表示することができます。表示できる文字コードは UTF-8、表示できる文字は半角英数字および一部の記号です。アルファベットは大文字のみの表示で小文字は大文字に変換されます。本機は漢字・ひらがな・カタカナ表示に対応していません。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しません。表示できない文字のときは、「*」(アスタリスク)に置き換えます。

・ TAG のない MP3/WMA ファイルは「NO TITLE」が表示されます。

・ MP3 の場合は、ID3-TAG V2.3/2.2/1.1 に対応しています。TAG 表示は、V2.3/2.2 を優先します。

・ WMA の場合、アルバム TAG は、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。

フォルダ数 / ファイル数

・ MP3/WMA (ディスク)

USB 機器

フォルダ数: 最大 99 フォルダ (1 フォルダあたり最大 999 ファイル。但し、999 ファイルの場合、3 フォルダまで)

ファイル数: 最大 3 0 0 0 ファイル (CZ201)、999 ファイル (CZ101)

■ディスクの再生について

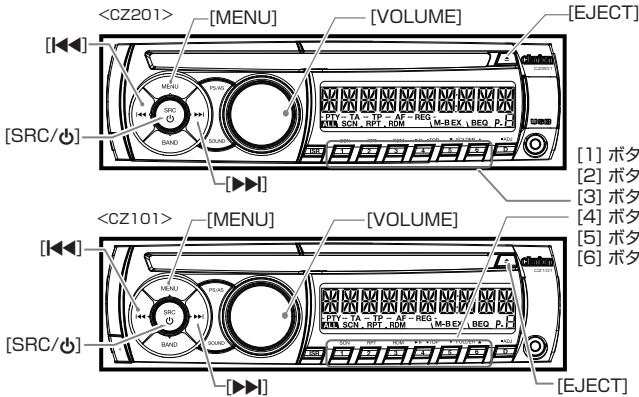
・ ディスクを入れると、タイトル表示部に「LOADING」を表示して、ディスク内のすべてのフォルダをチェックしたのち、再生が始まります。チェックをしている間は音が出ません。読み込めないフォルダなど、作成したディスクによっては、チェックする時間がかかる場合があります。

・ WMA の DRM(著作権保護)が ON のままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。

・ MP3/WMA データ以外のファイルは再生できません。

・ 曲の再生はディスクに記録した順番に行われます (パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません)。

- 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- 読み込めないファイルは、そのファイルは飛ばして、次ファイルを再生します。記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- 読み込めないファイルは、そのファイルは飛ばして、次ファイルを再生します。
- 再生出来ないディスクが挿入された場合は、LOADING 後、"ERROR 3" と表示され、ラジオモードへ切り替ります。
- マルチセッションディスク（音楽 CD-DA の曲と MP3/WMA の曲が混在したディスク）再生時、正常に再生出来ない場合もあります。



ディスクを入れる

ディスクインプレイ機能について…

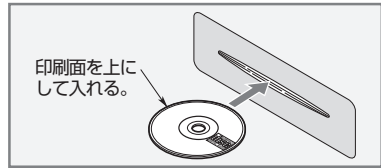
本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーが ON または ACC であればディスクを入れると、自動的に電源が入り、再生をはじめます。

⚠ 注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるディスクは入れないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。
- CD-R または CD-RW で記録されたディスクでも使用できない場合があります。CD 挿入口にディスクを入れる

→ ディスクを入れると、自動的に再生がはじまります。

1 CD 挿入口にディスクを入れる



→ ディスクを入れると、自動的に再生がはじまります。

ディスクを取り出す

バックアップ/イジェクト機能について… (CZ201 のみ)

本機の電源が入っていない状態からでも [▲] ボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

1 [▲] ボタンを押す

→ ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

すでに入っているディスクを聴く

1 [SRC/⏮] ボタンを押して、CD/MP3/WMA モードを選ぶ

→ CD/MP3/WMA モードになると、自動的に再生がはじまります。

ディスクが入っていないときは、CD/MP3 モードにはなりません。

最初の曲から聴く (トップ機能)

トップ機能について…

再生しているディスクの最初の曲から再生をはじめます。

1 [4] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)

→最初の曲 (トラック No.1) から再生されます。

- MP3/WMA の場合は、再生中のフォルダの 1 曲目に戻ります。

再生を止める (一時停止)

1 [4] ボタンを押す

→タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

■ 続けて再生を聴きたいときには…

もう一度、[4] ボタンを押してください。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、[▶▶] サーチボタンを押す

前の曲を聴くときは、[◀◀] サーチボタンを 2 回押す

→[▶▶] ボタンを押すと、次の曲が再生されます。また押した回数だけ先の曲が再生されます。

[◀◀] ボタンを押すと、再生中の曲を最初から再生します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が再生されます。

- 曲の頭部分を再生しているときに [◀◀] ボタンを 2 回押すと、2 曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り / 早戻しする

1 早送りするときは、[▶▶] サーチボタンを押し続ける

早戻しするときは、[◀◀] サーチボタンを押し続ける

- MP3/WMA ディスクの場合は、サーチ開始および曲間で多少時間がかかります。また、再生時間表示に誤差が生じる場合があります。

- [◀◀] サーチボタンを押し続けると、トラック 1 にもどり、再生を始めます。

曲を選ぶ (10 曲スキップ)

1 MP3/WMA の場合、[5] または [6] ボタンを押し続ける (約 1 秒間) と、前後 10 曲までスキップします

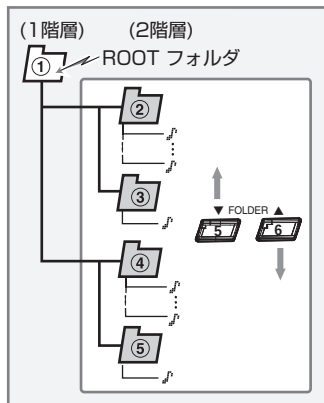
フォルダを切り換える (フォルダ選択モード)

フォルダ選択モードについて…

MP3/WMA ディスク再生時にフォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から再生します。

1 [5], [6] ボタンを押す

→[5] を押したときは前のフォルダに、[6] を押したときは次のフォルダに移ります。



■ 曲を選ぶには…

[◀◀]、[▶▶] サーチボタンを押してください。

フォルダーから曲を探す

MP3/WMA の場合、リストからフォルダーを選べます。

1 [MENU] メニューボタンを押す

→ディスプレイに“ FOLD SCH” 表示が
できます。

2 [VOLUME] ボリュームノブを押す

→現在再生しているフォルダーが表示され
ます。

3 [VOLUME] ボリュームノブを回す

→ディスクに入っているフォルダー名が
つぎつぎと表示されます。

4 聞きたいフォルダー名が表示されたら、[VOLUME] ボリュームノブを押す

→ファイルのリストが表示されます。

5 聞きたいファイルが表示されたら、[VOLUME] ボリュームノブを押す

・ディスクの ROOT にファイルがあるな
場合、そのファイルも1つのフォルダー
として表示されます。

いろいろな再生 (スキャン/リピート/ランダム演奏)

ご注意

- ・リピート / ランダム演奏は電源を
OFF にした場合でも保持されます。
- ・スキャンは保持されません。

■聴きたい曲を探す (スキャン演奏)

音楽 CD または MP3/WMA ディスク 1 フォルダ内に収録されている全曲を 10 秒間ずつ再生します。

1 [1] ボタンを押す

→[SCAN ON] を 2 秒間表示、[SCN]
インジケーターが点灯し、演奏をします。

・スキャン演奏は、再生している曲の次の曲からはじまります。

■曲を繰り返し聴く (トラックリピート演奏)

再生中の 1 曲を繰り返し再生します。

1 [2] ボタンを押す

→タイトル表示部に「RPT ON」を 2 秒間表示、[RPT] インジケーターが点灯し、リピート演奏をします。

・CD DA の場合 [RPT ON] と表示されます。

・MP3/WMA の場合 [TRACK RPT] と表示されます。

■フォルダ内の曲を繰り返し聴く (オールリピート演奏)

再生中の MP3/WMA フォルダ内の曲を繰り返し再生します。

1 [2] ボタンを 2 回押す

→タイトル表示部に「FOLD RPT」を 2 秒間表示、[ALL] と [RPT] インジケーターが点灯し、オールリピート演奏をします。

■全フォルダの曲をランダムに聴く

MP3/WMA ディスク全フォルダ内の曲を順不同に再生します。

1 [3] ボタンを押す

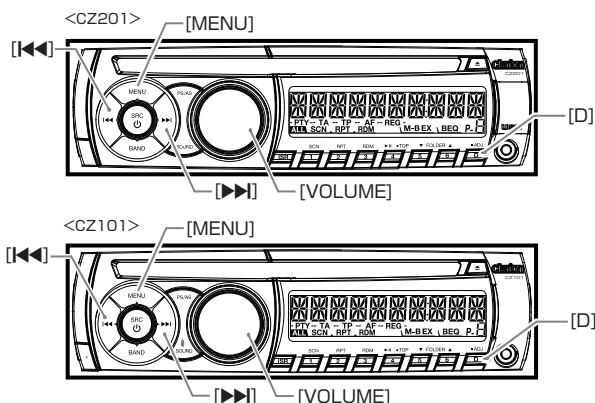
→タイトル表示部に「RDM ON」を 2 秒間表示して、オールランダム演奏をします。

■通常の演奏に戻すには…

1 もう一度、同じボタンを押してください。

→タイトル表示部に演奏オフ状態を 2 秒間表示、それぞれのインジケーターが消灯し、演奏している曲から通常の演奏になります。

設定を変更する (アジャストモード)



設定項目の選びかた

1 [D] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)

→ タイトル表示部に「**CLOCK**」を表示して、アジャストモードになります。

2 [◀◀], [▶▶] サーチボタンを押して、設定する項目を選ぶ

→ 押すたびに、右図のように切り換わります。

- ・ **(AUX SENS)** は、**AUX** モードを選択しているときに表示されます。
- ・ **(DX/LO)** は、ラジオモードを選択しているときに表示されます。
- ・ **(S-CTRL)** (CZ201) は、**iPod** モードを選択しているときに表示されます。

■ 設定を終えたら...

[D] ボタンを押してください。

CLOCK

- ・ 時計の設定 (p 15 参照)

(DX/LO)

- ・ **DX/LO** の設定 (p 20 参照) ※ラジオモード時のみ

(AUX SENS)

- ・ ポータブルオーディオの入力感度を設定 (p 37 参照) ※AUX モード時のみ

SCRN SVR

- ・ スクリーンセーバーの設定

SCROLL

- ・ スクロールの設定

(S-CTRL) ※iPodモード時のみ(CZ201)

- ・ iPod/iPhoneの操作の設定 (p 36 参照)

DIMMER

- ・ ディスプレイ照明の設定

REAR/S-W

- ・ リア出力(通常出力/サブウーハー)の設定

TEL-SW

- ・ 携帯電話音声の割り込みの設定

BEEP

- ・ ビープ音の設定

12/24H

- ・ 時計の12時間、24時間表示の設定

スクリーンセーバーを設定する (SCRN SVR)

ディスプレイに時計表示などを常に表示させておきたい場合は、「OFF」に設定してください。

※初期設定は、「OFF」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「SCRN SVR」を選ぶ

2 [VOLUME] ボリュームノブを回して設定する

- ON : スクリーンセーバー機能が ON になります。再生表示などの状態で約 30 秒間何も操作しないと、スクリーンセーバー表示となります。
- OFF : スクリーンセーバー機能が OFF になります。

タイトルスクロールを設定する (SCROLL)

MP3/WMA のファイルに記録されたタイトル等の表示をスクロールすることができます。

※初期設定は、「ON」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「SCROLL」を選ぶ

2 [VOLUME] ボリュームノブを回して設定する

FILE名 → FOLDER名 → TITLE名 → ARTIST名
 ↙ PLAY TIME ← ALBUM名 ↘

- ON : 再生中のファイルの情報を自動でスクロールをはじめスクロールを上記のように繰り返します。
- OFF : 再生中のファイルの情報を個々に繰り返し、表示します。
 ※ [D] ボタンを押すたびに表示が以下のように切り替わります。

FILE名 → FOLDER名 → TITLE名 → ARTIST名
 ↙ PLAY TIME ← 時計 ← ALBUM名 ↘

→ 名称が長いときはスクロールをして表示します。

ディスプレイ照明を設定する (DIMMER)

車のイルミネーションに連動させて、照明を減光させることができます。

※初期設定は、「ON」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「DIMMER」を選ぶ

2 [VOLUME] ボリュームノブを回して設定する

- ON : 車のイルミネーションに連動して、ディスプレイ照明を減光します。
- OFF : 連動しません。

RCA 出力を設定する (REAR/S-W)

RCA 出力 (リアの 2ch) をサブウーファーに切り替えます。

※初期設定は、「REAR」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「REAR/S-W」を選ぶ

2 [VOLUME] ボリュームノブを回して設定する

- REAR : 通常出力になります。
- S-WOOFER : 低域のみ出力します。

※サブウーファーのローパスフィルターとボリュームの設定は 19 ページを参照してください。

携帯電話音声の割り込みを設定する (TEL-SW)

携帯電話を別販の接続ユニットを介して接続すると、本機のスピーカーから携帯電話音声を聞くことができます。

※初期設定は、「OFF」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「TEL-SW」を選ぶ

2 [VOLUME] ボリュームノブを回して設定する

- OFF : 割り込みしません。
- ON : 携帯電話音声は接続されたフロントスピーカーから再生されます。また、音量は [VOLUME] ノブで調整することができます。
- MUTE : 本機から再生音は出ません。

ご注意

- AUX Bluetooth トランシーバー (BLT370) を接続するときは、この機能を「ON」に設定してください。

ビープ設定する (BEEP)

ボタン操作時のビープ音を設定します。「ON」のとき、ボタン操作時にスピーカーから“ピッ”と音がします。

※初期設定は、「ON」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「BEEP」を選ぶ

2 [VOLUME] ボリュームノブを回して設定する

- ON : スピーカーから音がでます。
- OFF : スピーカーから音がでません。

時計表示を設定する (12/24H)

時計表示を 12 時間表示と 24 時間表示に設定します。

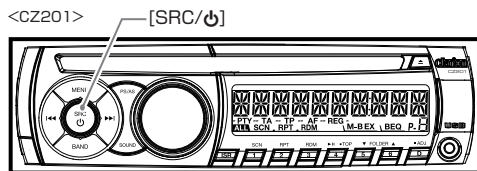
※初期設定は、「12 HOUR」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「12/24H」を選ぶ

2 [VOLUME] ボリュームノブを回して設定する

- 12 HOUR : 12 時間表示になります。
- 24 HOUR : 24 時間表示になります。

USB 機器のオーディオファイルを聴く (CZ201)



< USB 機器の操作について >

この章は、USB 機器を本機に接続したときの操作について説明しています。

次の操作は CD/MP3/WMA と同様の操作です。

- ・ 曲を選ぶ ・ 早送り / 早戻し (DRM ファイルを除く)
- ・ 一時停止 ・ フォルダ選択
- ・ スキャン / リピート / ランダム演奏

「CD/MP3/WMA を聴く」(23～27 ページ)をご覧ください。

- ・ USB 機器を本体に挿入すると突起物となり、す運転中に何らかの危険を及ぼす場合があります。かならず別販の延長 USB ケーブル (CCA-755-500) をご使用ください。
- ・ 記録されているデータを消失してしまったのために、貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップをとっておくことをお勧めします。
- ・ 本機はパソコンとの接続には対応していません。また、USB ハブを介して接続することもできません。
- ・ 2 つ以上のドライブで構成されている USB 機器は、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- ・ セキュリティー機能の付いた USB 機器は再生できません。
- ・ 接続する USB 機器によっては曲順などが変わってしまう場合があります (パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません)。
- ・ USB 再生中、フォルダ UP/DOWN を連続して操作すると、演奏時間表示が [00:00] のまま、音が出ません。

USB 機器について

- ・ 本機で再生できるオーディオファイルは、MP3/WMA ファイルです。詳しくは「MP3/WMA について」(23 ページ)をご覧ください。
- ・ 本機の USB スロットに接続をして再生できる USB 機器は、「USB マスストレージクラス」として認識されることが条件となりますが、すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。

※「USB マスストレージクラス」に準拠したデバイスは、特殊なドライバーやアプリケーションソフトを使用することなく接続するだけで使用できます。

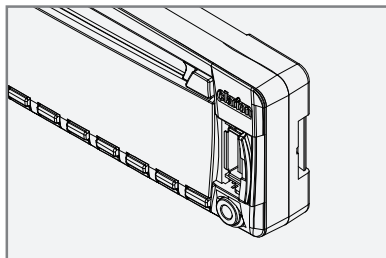
- ・ 使用する USB 機器が「USB マスストレージクラス」に準拠しているかは、USB 機器の販売メーカーにお問い合わせください。

USB 機器を接続する



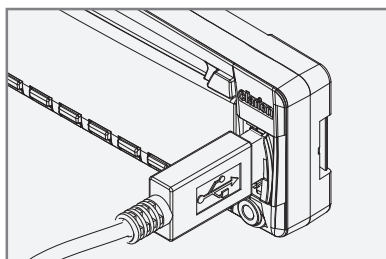
- ・ USB コネクタ部に異物を入れないでください。
- ・ エンジンをつける前に接続しないでください。USB 機器がこわれることがあります。

1 USB スロットカバーを開ける



2 USB スロットに USB 延長ケーブルを接続する

3 USB 延長ケーブルに USB 機器を接続する



→挿入すると、USB 機器に保存された最初のファイルから再生をはじめます。

- USB 機器を認識しない場合は、[SRC/⏮] ボタンを押してソースを切り換えてください。
- USB 機器はコネクターの奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全ですと、USB 機器を認識しない場合があります。
- 収録されている曲数によっては読み込みまでに時間がかかる場合があります。

ご注意

- USB 機器の抜き差しは、USB 機器にアクセスしていないときに行ってください。次のようなときに行くと、データが破損する場合があります。
…読み込み中に USB 機器を抜いたり、電源を OFF したとき
…静電気、電気ノイズの影響を受けたとき
- USB 機器を車内に放置しないでください。直射日光や高温などの影響により、USB 機器が変形したり故障する場合があります。

USB 機器のオーディオファイル を聴く

1 [SRC/⏮] ボタンを押して、ソースを切り換える

→押すたびに次のように切り換わります。
USB モードになると前回停止したところからはじまります。(DRM ファイルを除く)

ラジオ	→	CD/MP3/WMA
⬅	AUX	← USB ➡

- USB 機器が接続されているときに USB モードを表示します。
- USB 機器を取り外し、再度接続したときは、USB 機器に記録されたファイルの最初から再生をはじめます。

再生を終了するには

1 [SRC/⏮] ボタンを押して、USB モード以外のソースに切り換える

ご注意

- USB モード中に USB 機器を抜き取らないでください。USB 機器のデータが破損する場合があります。
- 貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップデータを保存しておいてください。

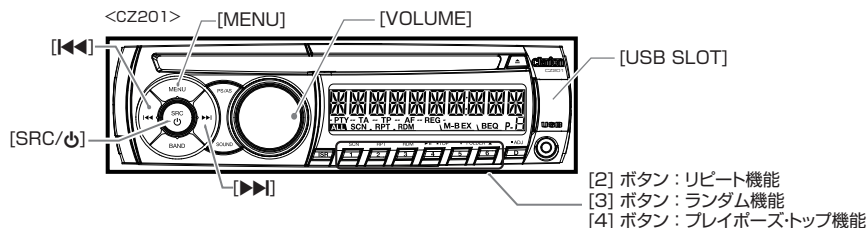
2 USB スロットから延長ケーブルを取り外す

3 USB スロットのカバーを閉じる

ご注意

- 再生終了後は USB スロットのカバーを閉じて、ほこりなど侵入による接続端子の損傷を防止してください。

iPod を操作する (CZ201)



< iPod について >

この章は iPod が USB スロット経由で本機に接続したときの操作について説明しています。

- iPod に関する詳細な操作方法は、iPod の「取扱説明書」を参照してください。
- 本機と接続可能な iPod に関しては、お近くのクラリオン販売店にお問い合わせいただくか、弊社 Web サイト www.clarion.com をご覧ください。

次の操作は CD と同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り / 早戻し
- 一時停止
- リピート / ランダム演奏

「CD/MP3/WMA を聴く」(23 ~ 27 ページ) をご覧ください。

iPod を接続する

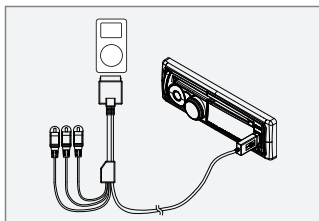
1 iPod を接続する

→ iPod で再生していた「シャッフル演奏」は次のように設定されます。

- シャッフル (アルバム) → ランダム演奏
- シャッフル (ソング) → オールランダム演奏

ご注意

- iPod を本機と接続する場合、別販の CCA-750 をご使用ください。
- CCA-750 を接続しても短いときは、別売の CCA-755 USB 延長ケーブルを使用して延長してください。



iPod を選ぶ

1 [SRC/⏮] ボタンを押して、ソースを切り換える

→ 押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

ラジオ → CD/MP3/WMA
↑ ↓
AUX ← iPod

- iPod で再生していた最後のファイルから再生をはじめます。
- iPod や iPhone でビデオを再生していた場合、音楽ファイルのトラック 1 から再生をはじめます。

いろいろな再生 (プレイモード時)

ご注意

- この機能は iPod シンプルコントロールモードのときには動きません。
- iPod メニューモードのときは、リピートおよびランダムは操作できません。
- iPod で、設定したランダム / リピート機能は、iPod 着脱後もその機能を保持します。

■曲を繰り返し聴く (リピート演奏)

1 [2] ボタンを押す

→ タイトル表示部に「**RPT ON**」を 2 秒間表示、**[RPT]** インジケーターが点灯し、演奏をします。

■アルバムをランダムに聴く (ランダム演奏)

この演奏は iPod の “シャッフル (アルバム)” 演奏と同じです。

1 [3] ボタンを押す

→ タイトル表示部に「**ALBUM RDM**」を 2 秒間表示、**[RDM]** インジケーターが点灯し、演奏をします。

■曲をランダムに聴く (オールランダム演奏)

この演奏は iPod の “シャッフル (ソング)” 演奏と同じです。

1 [3] ボタンをもう一度押す

→ タイトル表示部に「**SONG RDM**」を 2 秒間表示、**[RDM]** インジケーターが点灯し、演奏をします。

■通常の演奏に戻すには…

1 もう一度、同じボタンを押してください。

→ タイトル表示部に演奏オフ状態を 2 秒間表示、それぞれのインジケーターが点灯し、演奏している曲から通常の演奏になります。

ご注意

- 選択されたカテゴリ内で全曲再生後、リピートモードをキャンセルした場合は、その選択されたカテゴリ内の最初の曲から再生をはじめます。
- ランダム演奏、またはオールランダム演奏時にイグニッションスイッチを切り、すぐに入れ直した場合、今まで再生していた曲以外の曲から再生がはじまります。

iPod メニューからカテゴリを選ぶ (ミュージック)

1 [MENU] ボタンを押す (iPod メニューモード)

2 iPod メニューから **[MUSIC]** を選び、**[VOLUME]** ボリュームノブを押す

ご注意

- iPod メニューモードのときは、リピートおよびランダムは操作できません。

3 **[VOLUME]** ボリュームノブを回して、カテゴリ表示を切り換える

→ iPod メニューのカテゴリーは、次のように切り換わります。

PLAYLISTS ↔ ARTISTS ↔
ALBUMS ↔ GENRES ↔
SONGS ↔ COMPOSERS ↔
PLAYLISTS...

ご注意

- [MENU] ボタンを押すとひとつ前のメニューにもどります。
- [MENU] ボタンを押し続けると、iPod メニューのはじめにもどります。

4 [VOLUME] ボリュームノブを押して、カテゴリーを選ぶ

5 それぞれのカテゴリーから再生したい曲まで [VOLUME] ボリュームノブを回してさがす

6 再生したい曲が表示されたら、[VOLUME] ボリュームノブを押す

→ 選んだ曲から順番に再生をはじめ、iPod メニューモードを解除します。

iPod メニューからカテゴリーを選ぶ (ビデオ)

本機は、別販 CCA-750 と別販モニターを接続することで iPod/iPhone 内のビデオを見ることが出来ます。

1 [MENU] ボタンを押す (iPod メニューモード)

2 iPod メニューから [VIDEO] を選び、[VOLUME] ボリュームノブを押す

3 [VOLUME] ボリュームノブを回して、カテゴリー表示を切り換える

→ iPod メニューのカテゴリーは、次のように切り換わります。

MOVIES ↔ MUSIC VIDEOS ↔
TV SHOWS ↔ VIDEO
PACAST ↔ RENTALS ↔
MOVIES...

ご注意

- [MENU] ボタンを押すとひとつ前のメニューにもどります。
- [MENU] ボタンを押し続けると、iPod メニューのはじめにもどります。

4 [VOLUME] ボリュームノブを押して、カテゴリーを選ぶ

5 それぞれのカテゴリーから再生したいビデオまで [VOLUME] ボリュームノブを回してさがす

6 再生したいビデオが表示されたら、[VOLUME] ボリュームノブを押す

→ 選んだビデオの再生をはじめ、iPod メニューモードを解除します。

アルファベットを検索する (ABC サーチ機能)

1 [MENU] ボタンを押して、カテゴリー内から下の階層を選ぶ

2 [D] ボタンを押し続ける (約 1 秒間) → アルファベット検索表示になります。

3 [VOLUME] ボリュームノブを回し、アルファベットを選ぶ

4 [D] ボタンを押す

→ 検索が始まります。

検索中は「ABC-SEARCH」が表示されます。

※ ファイルが見つからないときは、現在再生しているファイルの表示になります。

※ 検索後に [VOLUME] ボリュームノブを回すと、次のリストが表示されます。

5 目的のリストが見つかったら、 [VOLUME] ボリュームノブを押す

→再生が始まります。

シンプルコントロールを選ぶ

本機と接続された iPod/iPhone 側での操作”シンプルコントロール”が可能です。

1 [D] ボタンを押す

2 [VOLUME] ボリュームノブを回して、 [S-CTRL] シンプルコントロール を選ぶ

3 [VOLUME] ボリュームノブを回して 設定する

ON : iPod/iPhone 側からの操作が可能

OFF : 本機での操作が可能

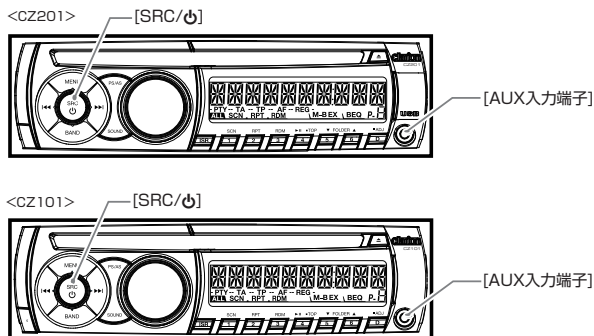
※初期設定は「**OFF**」です。

タイトル表示について

本機は iPod から送られてくるタイトル情報の表示が可能です。

- 文字コードは UTF-8、表示できる文字は半角英数字・および一部の記号です。
- アルファベットは大文字のみの表示で小文字は大文字に変換されます。
- 本機は漢字・ひらがな・カタカナ表示に対応しておりません。
- 表示できない文字のときは、“*”（アスタリスク）で置き換えます。

ポータブルオーディオ / 携帯電話音声を聴く (AUX)



AUX を選ぶ

本機に市販のポータブルオーディオなどを接続して、音楽ソースを聴くことができます。また、AUX Bluetooth トランシーバー (BLT370) を接続すると携帯電話の通話音声を聴くことができます。

1 [SRC/φ] ボタンを押して AUX モードを選ぶ

→ 接続されたポータブルオーディオのプレイ操作で、再生されます。

・ CZ201 の場合：

ラジオ → CD/MP3/WMA
← AUX ← USB(iPod) ↓

・ CZ101 の場合：

ラジオ → CD/MP3/WMA
← AUX ↓

■ 音が割れる / 音が小さいときには…

本機の入力レベルを調整してください。設定方法は、次項の「ポータブルオーディオの入力レベルを設定する (AUX SENS)」をご覧ください。

■ AUX Bluetooth トランシーバー (BLT370) を接続したときは…

この機能を使用するときは、「設定を変更する (アジャストモード)」(28 ページ) を参照して「携帯電話音声の割り込みを設定する (TEL-SW)」を「ON」にします。

※初期設定は、「OFF」です。

AUX 入力接続のしかた

市販の 3.5mm ステレオミニプラグコードを使用して、ポータブルオーディオを本機正面パネルの「AUX 入力端子」へ接続してください。

ご注意

- ・ プラグを接続している状態で、プラグに無理な力を加えないでください。また、ポータブルオーディオを使用しないときには、プラグを抜いてください。

ポータブルオーディオの入力レベルを設定する (AUX SENS)

本機に接続された市販のポータブルオーディオの入力レベルを設定します。

※初期設定は、「MID」です。

- 1 [D] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶] サーチボタンを押して、「AUX SENS」を選ぶ
- 3 [VOLUME] ボリュームノブを回して設定する

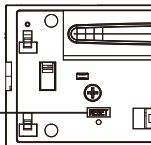
- ・ LOW : 入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき。
- ・ MID : 通常レベルのとき
- ・ HIGH : 入力レベルが低いとき

ご注意

- ・ この機能は、AUX モードを選択しているときに設定できます。

故障かな？と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押ししてください。 ディスクが入っている状態でリセットボタンを押した場合は、再生する前に一度ディスクを取り出して再挿入してください。  リセットボタン リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリーなどがすべて消えますので、もう一度設定し直してください。
ラジオ	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作している	音量をもう少し絞ってお聴きください。 電源を再投入することで、音声出力は復帰します。スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュームが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	「 DX 」モードにするか、手動選局モードで選局してください。 ※「 DX 」モードの設定は20ページを参照してください。

	現 象	原 因	処 置
C D / M P 3 / W M A	音が出ない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面に上にして入れてください。
		ディスクにMP3/WMAファイルがない	ディスクにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ファイル形式または、ファイル名が正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		録音時のサンプリング周波数が低い	サンプリング周波数の設定を上げて録音し直してください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
その他	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
	ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。
	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次の「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。
U S B / i P o d (C O N N E C T O R)	音が出ない	接続機器にMP3/WMAファイルがない	接続機器にMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
	音飛びする ノイズなどが入る	MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
	USB機器が認識されない	USB機器が破損している	USBコネクタを抜き差ししてください。それでも認識しない場合には、新しいUSB機器と交換してください。
		USBコネクタの接続が悪い	
		動作状況により、本機とUSB機器やiPod、携帯オーディオが認識されない場合がございます。	
	USB機器が挿入できない	USBコネクタの挿入方向が間違っている	USBコネクタの向きを変えて挿入してください。
		USB機器のコネクタが破損している	新しいUSB機器と交換してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
CD MP3 WMA	ERROR3	CD-RでもMP3/WMA以外のファイルしか入っていない	録音されているディスクと交換してください。
		ディスクに傷などがあり、再生できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
		ディスクを裏返しに入れ、再生できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。
USB iPod (CNOO1)	ERROR2	ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用してください。
	ERROR3 (USBモード)	MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用してください。
	ERROR3 (iPodモード)	iPodにISOファイルがないとき	ISOファイルが保存されたiPodと交換してください。

上記以外のエラーが表示されたときは、38 ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

■CD プレーヤー部

周波数特性 : 20Hz ~ 20KHz ± 3dB
SN 比 : 75dB
高調波ひずみ率 : 0.1%

■FM チューナー部

受信周波数 : 76.0MHz ~ 90.0MHz
実用感度 : 8dBf
50dB クワイテイング感度 : 17dB
SN 比 : 60dB
周波数特性 : 30Hz ~ 15KHz ± 3dB
分離度 : 30dB (1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.3% (1kHz)

■AM チューナー部

受信周波数 : 522kHz ~ 1,629kHz
実用感度 : 30dB μ V
SN 比 : 50dB

■MP3/WMA 部

セクタ構造 :
CD-ROM モード 1、モード 2- フォーム 1
(自動判別)
論理フォーマット :
ISO9660 レベル 1,2/Joliet/Romeo
フォルダ構造 : 8 階層
フォルダ数 : 最大 99 フォルダ
(1 フォルダあたり最大 999 ファイル)
ファイル数 : 最大 3000 ファイル (CZ201)
最大 999 ファイル (CZ101)
ファイル名 : 30byte
(1byte 文字で 30 文字)
フォルダ名 : 最大 30byte
(1byte 文字で 30 文字)

(MP3)

MP3 デコード :

MPEG-1、オーディオレイヤー 3 準拠
サンプリングレート (kHz) :
MPEG-1 : 32、44.1、48
MPEG-2 : 16、22.05、24
MPEG-2.5 : 8、11.025、12
ビットレート (kbps/VBR) :
MPEG-1 : 32 ~ 320
MPEG-2 : 8 ~ 160
MPEG-2.5 : 8 ~ 160

(WMA)

サンプリングレート (kHz) :
22.05、32、44.1、48
ビットレート (kbps/VBR) : 32 ~ 192

■USB 部 (CZ201)

最大転送レート 12Mbps で USB1.1/2.0 互換
フォルダ構造 : 8 階層
フォルダ数 : 最大 99 フォルダ
(1 フォルダあたり最大 999 ファイル)
ファイル数 : 最大 3000 ファイル (CZ201)
最大 999 ファイル (CZ101)
ファイル名 : 30byte
(1byte 文字で 30 文字)
フォルダ名 : 最大 30byte
(1byte 文字で 30 文字)

(MP3)

MP3 デコード :

MPEG-1、2、2.5 オーディオレイヤー 3 準拠
サンプリングレート (kHz) :
MPEG-1 : 32、44.1、48
MPEG-2 : 16、22.05、24
MPEG-2.5 : 8、11.025、12
ビットレート (kbps/VBR) :
MPEG-1 : 32 ~ 320
MPEG-2 : 8 ~ 160
MPEG-2.5 : 8 ~ 160

(WMA)

サンプリングレート (kHz) :
22.05、32、44.1、48
ビットレート (kbps/VBR) : 32 ~ 192

■AUX 部

入力感度

LOW : 1.3V (1V 出力)
MID : 650mV (1V 出力)
HIGH : 320mV (1V 出力)

■オーディオ部

定格出力 : 20W × 4 (20Hz ~ 20kHz、1%、4 Ω)
最大出力 : 45W × 4
適合インピーダンス : 4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω)
3 バンド EQ
BASS : ± 10dB (100Hz)
MID : ± 10dB (1kHz)
TREBLE : ± 10dB (10kHz)
マグナベース EX : + 10dB (100Hz)
ラインアウト出力レベル : 2V (CD1kHz)

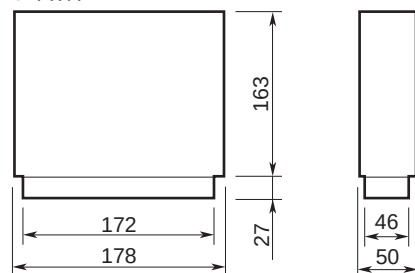
■共通部

電源電圧 : DC14.4V
 接地方式 : マイナス接地
 消費電流 : 3.0A (1W 時)
 ヒューズ定格 : 15A
 外形寸法 :
 178 (W) × 100 (H) × 190 (D) mm
 [取付寸法 : 163(D)mm]
 質量 : 1.35kg

■付属品

・取扱説明書 1 部
 ・取付説明書 1 部
 ・保証書 1 部
 ・電源コード 1 本
 ・トラスネジ (M5 × 6) 4 本
 ・サラネジ (M5 × 6) 4 本
 ・特殊ネジ (M4 × 15) 1 本

●本体部



※これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

WMDRH10 について

- この製品は財産権により保護されています。この製品外での当該技術の使用または配布はマイクロソフトの許諾がなければ禁止されます。
- コンテンツオーナーは著作権を含む自らの知的財産権を守るためにウィンドウズメディアデジタル権管理技術 (WMDRM) を使用しています。このデバイスは WMDRM によって保護されたコンテンツにアクセスするために WMDRM ソフトウェアを使用しています。WMDRM ソフトウェアがコンテンツの保護に失敗した場合、コンテンツオーナーは保護されたコンテンツを再生またはコピーするために WMDRM を使用するソフトウェアの能力を取り消すようマイクロソフトに依頼することがあります。この取り消しは保護されていないコンテンツには影響しません。あなたが保護されたコンテンツ用にライセンスをダウンロードするとき、あなたはマイクロソフトがライセンスとともに取り消しリストを含めることができることに同意します。コンテンツオーナーはそのライセンスにアクセスするための WMDRM をアップグレードするようあなたに求めることがあります。あなたがアップグレードを差し控えた場合、あなたはアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスすることはできません。

アフターサービスについて

■ 保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

お買い求めの日より 1 年間です。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後 6 年保有しています。

■ ご質問・ご相談について

本機に関するご質問・ご相談は、最寄りの弊社修理相談窓口または弊社お客様相談室にお問い合わせください。

取付作業前のご確認事項

■付属品について

- ・ 付属品の構成は、取扱説明書の「仕様」の項目に記載してあります。取付作業の前に付属品をご確認ください。

安全に正しく取り付けていただくために

■ 作業をはじめる前に

⚠ 警告

- 本機はDC12V車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しない…
火災や故障などの原因となります。
- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス側ケーブルを外す…
プラス⊕とマイナス⊖経路のショート事故による感電やけがの原因となります。

⚠ 注意

- 本機の取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…
誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行う…
エアバッグが誤動作する原因となる場合があります。

■ 取付場所について

⚠ 警告

- 本機を次のような場所に取り付けない… 
- 前方の視界を妨げる場所
- ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所
- 同乗者に危険を及ぼす場所
交通事故やけがの原因となります。

- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機を取り付けと配線をしない… 
- エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。

⚠ 注意

- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへは取り付けない… 
- 本機に水や湿気、ほこり等が混入すると発煙や発火、故障の原因となることがあります。

- 振動の多いところなど、確実に固定できないところには取り付けない… 
- 本機が外れて、事故やケガの原因となることがあります。

- 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところや、本機の通風穴や放熱部をふさぐところには取り付けない… 
- 本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

■ 取付上のご注意

⚠ 警告

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意する。また、加工部のサビ止めや浸水防止を施す…



火災や感電の原因となります。

- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない…



これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。

⚠ 注意

- 必ず付属の部品を指定通りに使用する…



指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

- 車体に穴を開けてコード類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用する…



開口部とコード類との接触により、すり切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。

■ 結線上的ご注意

⚠ 警告

- 本機の電源端子をバッテリーに直接接続する場合は、指定容量以上の電源コードを使用する… 

指定容量に満たないコードを使用すると、電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となることがあります。

- 接続コード類の配線は高熱部を避けて行う… 

コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。

- コード類は、運転操作の妨げとにならないようにテープなどでまとめておく… 

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしない… 

電源コードの電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

- 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープなどで絶縁する… 

ショートにより火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 取付説明書で指定された通りに接続する… 

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

- コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで確実に固定する… 

コード類が車体部分との接触により、すりきれてショートして、事故や火災の原因となることがあります。

- 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線する… 

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

■ 作業が終わったら

⚠ 警告

- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーンなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認する… 

正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。

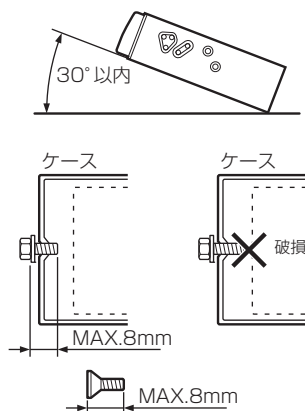
取付上のお願い

- 本機は、水平面から 30° 以内で取り付けてください。
- 日産車への取り付けは、一部の車種を除き別販の取付キットが用意されています。またトヨタ車への取り付けは、一部の車種を除き、車両の取付金具を使用して取り付けることができます。
- 車種や年式により、専用の取付キットを使用しないと取り付けられない場合がありますので、販売店にご相談ください。



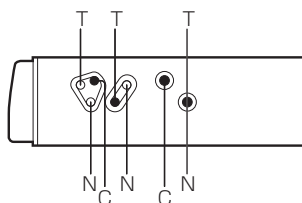
警告

- 取り付けには、必ず付属のネジを正しくご使用ください。指定以外のネジを使用すると、事故や故障の原因となります。



取付穴について

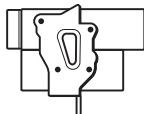
- 本機には、日産車 (N)、トヨタ車 (T)、当社車種別キット用 (C) の取付穴が設けられています。
 - 当社の取付キット (別販) を使用する場合は、車種によって多少異なりますが、●印穴のいずれかを使用して取り付けます。
- ※ 詳しくは、取付キットに同梱の取付説明書をご覧ください。



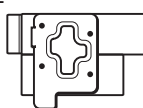
<取付ブラケットの例>

- 印はネジ止め箇所です

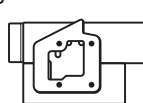
例1



例2



例3

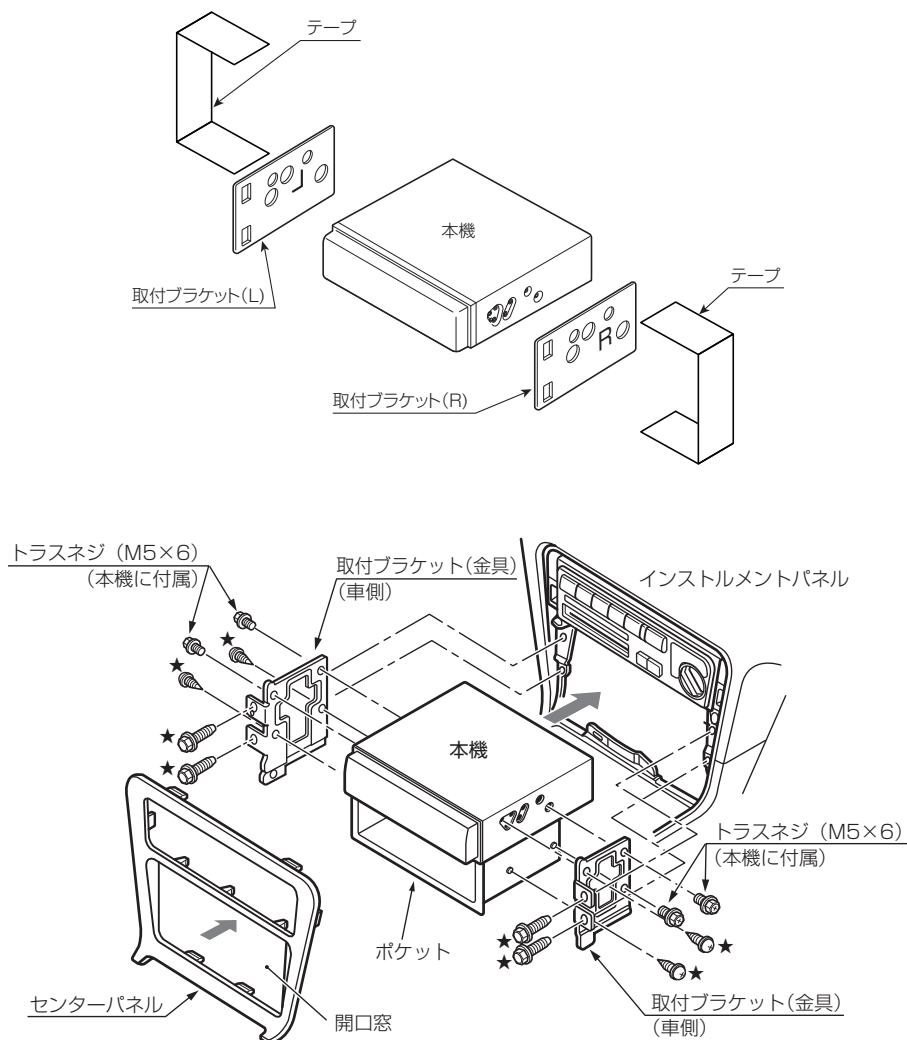


取付例

- ここでは、日産車、トヨタ車、ホンダ車、マツダ車への取付例を紹介しています。
詳しくは、それぞれの車種別に用意された（別販）取付キットに同梱の取付説明書をご覧ください。

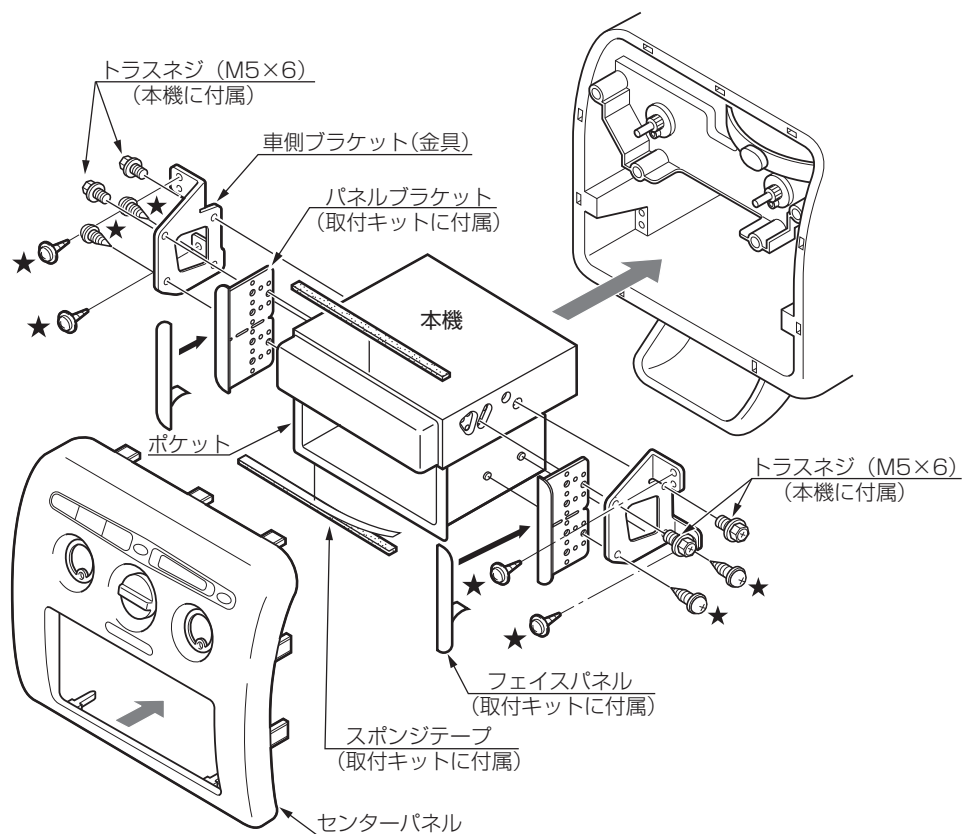
■日産車への取付例

- 車側の取付金具と、（別販）取付キット（日産車用 1DIN フェイスパネル：BKN-047-300）を使用した例です。（★印のネジは車側のネジです。）
- セット本体にブラケットを合わせテープ等で仮固定します。



■トヨタ車への取付例

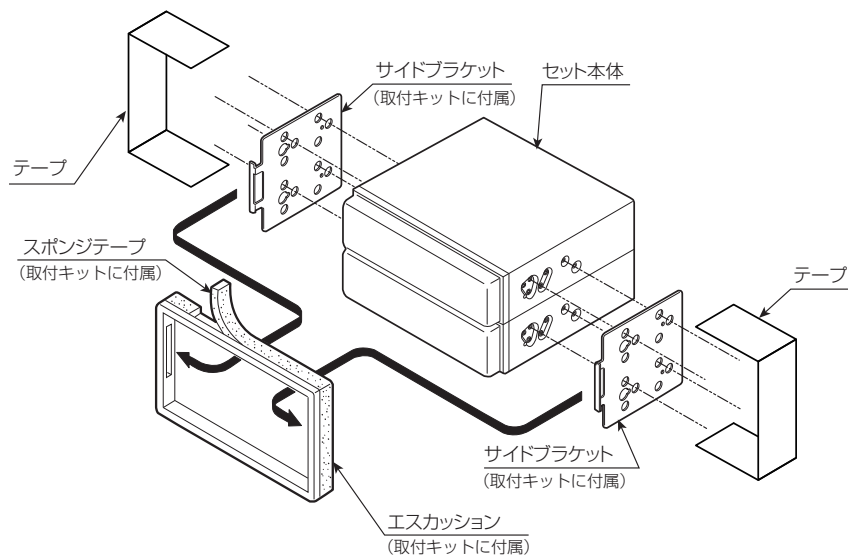
- 車側の取付金具と、(別販) 取付キット (トヨタ車用 200mm フェイスパネル : BKB-048-501) を使用した例です。(★印のネジは車側のネジです。)



■ホンダ車への取付例

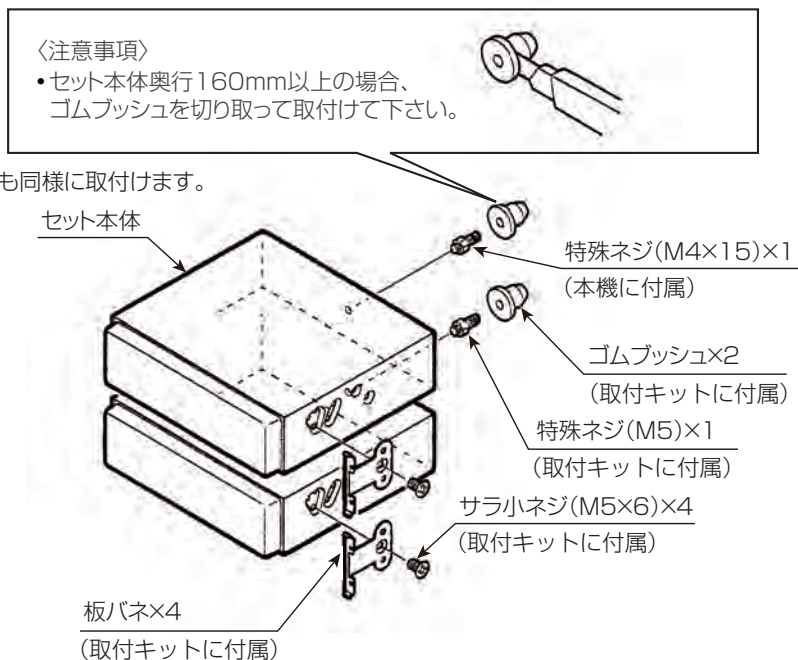
- 車側の取付金具と、(別販) 取付キット (ホンダ車用 2DIN 取付キット : BKH-025-510) を使用した例です。

1. エスカッションにスポンジテープを貼り付けます。
2. セット本体にエスカッションを取付け、サイドブラケットを穴位置に合わせ、テープ等で仮固定してください。



■マツダ車への取付例

- 車側の取付金具と、(別販) 取付キット (1DIN + 1DIN 取付キット : BKT-019-510) を使用した例です。
- セット本体に板バネ、特殊ネジ (M4 × 15 : 本機に付属)、ゴムブッシュを取付けます。
 1. セット本体に板バネをサラ小ネジ (M5 × 6) で取付けます。
 2. セット本体の後部に特殊ネジ (M4 × 15) を取付け、ゴムブッシュを差込みます。

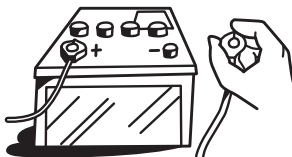


結線のしかた

警告

- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側のケーブルを外してください。

ショート事故による感電やケガの原因となります。また、ショート事故による機器内部の部品を破損する原因となります。



- メイン電源コードを接続する車側電源端子が、15A以上の電流容量であることをお確かめください。15A未満のときは、15A以上の容量を持つ電源コードを使用して、バッテリーに直接接続してください。
- バッテリーに直接接続する場合は、別販のメイン電源延長コード(CCA-564-510)を使用してください。

RCAケーブル

RCAケーブルは、接続先を確認してから接続してください。

RCAケーブルは、接続部がはずれないように、絶縁テープなどで固定してください。

注意

※接続しないRCAケーブルの絶縁キャップは、ショート防止のため、はずさないでください。



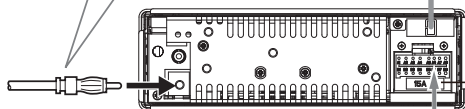
外部アンプ接続時のご注意

本機に外部アンプを接続してシステムアップする場合には、外部アンプのアースコードは確実に自動車の金属部分に接続してください。接続が不十分ですと雑音の原因となるばかりか、接続する外部アンプによっては本機の内部回路を破損する場合があります。

アンテナ入力

本機のアンテナ入力端子は、メインアンテナ入力のみです。車側がダイバーシティアンテナの場合は、メインアンテナのみを接続してください。

※車側の端子と合わない場合は、別販のアンテナ変換コードを使用してください。詳しくは、販売店にご相談ください。



アンテナ入力

車側のアンテナ端子を接続します。

ご注意

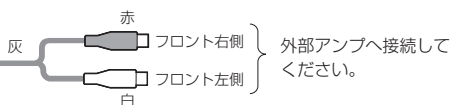
ショート事故防止のため、電源コネクタを接続する前に、結線内容を再度確認してください。



次ページ参照



リア音声出力 ※リア出力はサブウーファーに切り替えができます。



フロント音声出力 ※CZ101にはありません。

ヒューズ

ヒューズが切れたときは、ショート事故防止のため次の手順で、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

ご注意

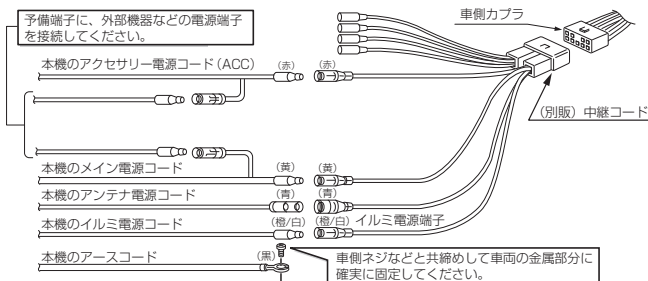
ヒューズを交換するときは、同じ容量のヒューズを入れてください。入れ間違えると故障の原因となりますので、アンペア数をよくお確かめのうえ、交換してください。

電源コード

車種別の専用取付キット(中継コードキット、別販)を、ご使用ください。また、適合車種については販売店にご相談ください。

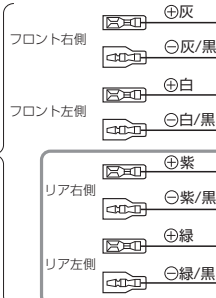
注意

- 接続しない端子は、金属部に触れないように、端子を絶縁テープなどで覆ってください。

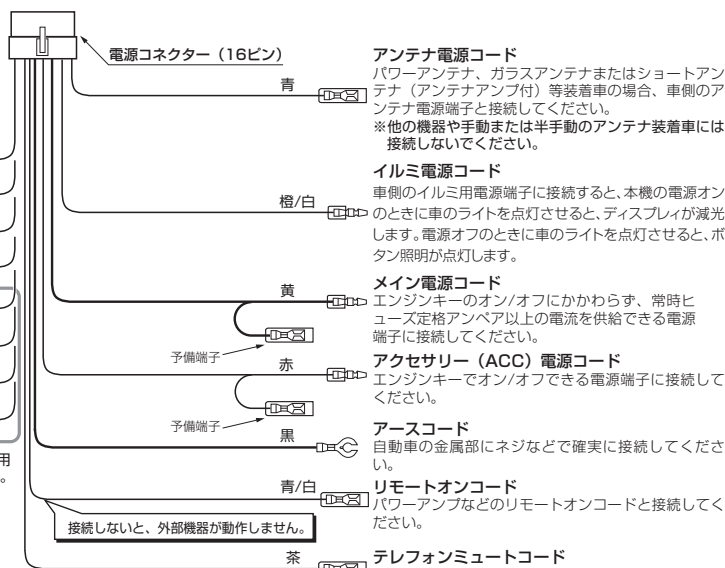


スピーカーコード

スピーカー端子と接続します。



※2スピーカーシステムでご使用になる場合は、接続しません。



アンテナ電源コード

パワーアンテナ、ガラスアンテナまたはショートアンテナ (アンテナアンプ付) 等装着車の場合、車側のアンテナ電源端子と接続してください。

※他の機器や手動または半手動のアンテナ装着車には接続しないでください。

イルミ電源コード

車側のイルミ用電源端子に接続すると、本機の電源オンのときに車のライトを点灯させると、ディスプレイが減光します。電源オフのときに車のライトを点灯させると、ボタン照明が点灯します。

メイン電源コード

エンジンキーのオン/オフにかかわらず、常時ヒューズ定格アンペア以上の電流を供給できる電源端子に接続してください。

アクセサリ (ACC) 電源コード

エンジンキーでオン/オフできる電源端子に接続してください。

アースコード

自動車の金属部にネジなどで確実に接続してください。

リモートオンコード

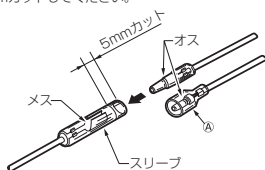
パワーアンプなどのリモートオンコードと接続してください。

デフォルトミュートコード

Bluetoothトランシーバー (BLT370) のデフォルトミュートコードを接続します。

電源端子およびスピーカー端子

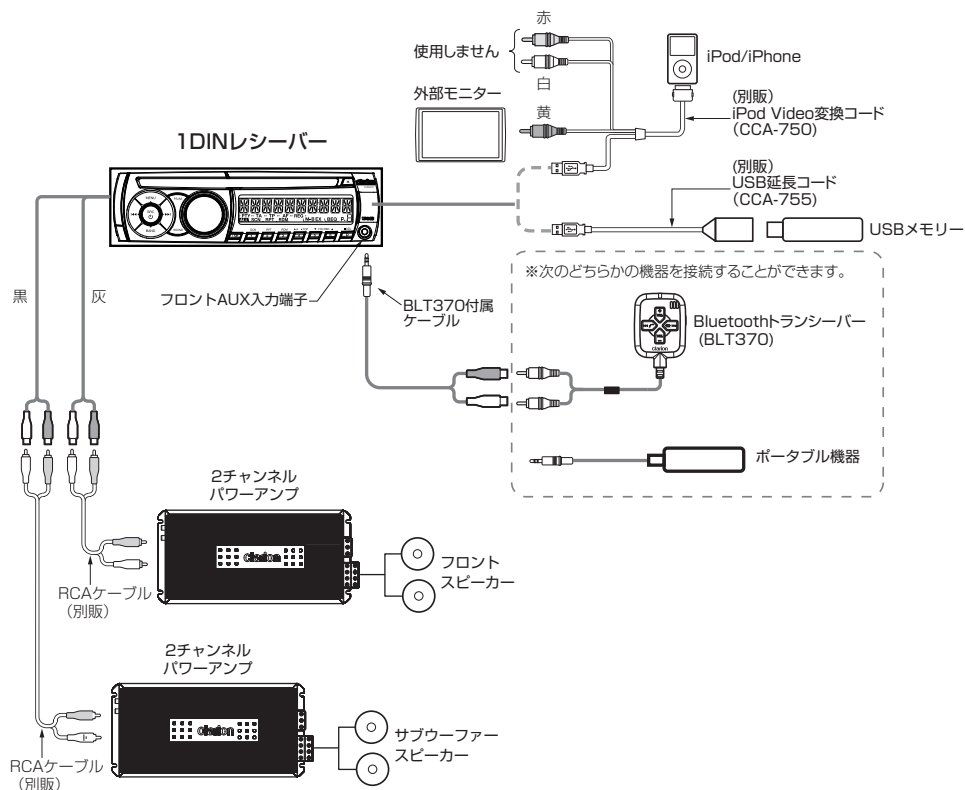
端子の接続は、オスとメスがロックするまで差し込んでください。オス端子が下図Aタイプの場合は、メス端子のスリーブを約5mmカットしてください。



注意

- 接続しない端子は、金属部に触れないように、端子を絶縁テープなどで覆ってください。

■システム例 (CZ201 の場合)



クラリオン株式会社

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル 0120-112-140
(土・日・祝・祭日を除く 9:30~12:00、13:00~17:00)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとでお問い合わせされるときに便利です。